

令和05年9月（第3回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 鬼頭 博和 議員

1 障がい者福祉の推進について

- (1) 障がい者の外出支援としてはどのようなものがあるのか。
- (2) 障がい者福祉タクシー助成の利用状況は。
- (3) 福祉タクシーの助成だけでなく、他の手段による外出支援ができないか。
- (4) 視覚障がい者の現状は。
- (5) 本市の視覚障がい者に対する支援の現状は。
- (6) 公的書類や印刷物等に音声コード表示の導入を。

2 生活困窮者の支援について

- (1) フードドライブで集まった食材を生活困窮者に配付する事業の現状は。
- (2) 持ち込んだ食材の量に応じてポイント付与するなど、フードドライブのさらなる推進を。
- (3) 生活保護世帯の子どもが専門学校や大学に進学する状況は。
- (4) 生活保護世帯の子どもの進学を支援する施策の検討を。

2 木村 冬樹 議員

1 自衛官募集のための名簿提供が本当に必要なのか、今一度立ち止まって考え直すべきではないか

- (1) 名簿提供の法的根拠をどう考えるか。
- (2) これまでの情報提供の方法の推移はどうか。
- (3) 名簿提供の除外申出ができることを個別に通知すべきではないか。
- (4) 自衛隊内の射撃訓練での殺傷事件をどう考えるか。
- (5) 名簿提供を中止すべきではないか。

2 保険証廃止の中止を求めるべきではないか

- (1) マイナンバーカードの情報の総点検の内容及び現時点での状況はどうか。十分な点検方法と考えるか。
- (2) カード返納の状況は。
- (3) 「資格確認書」の運用について国からの通知はあるのか。事務量及び経費の増加をどう見ているか。
- (4) 保険証廃止の不便さを認識しているか。
- (5) 再度、保険証廃止の中止を国に求めるよう要望する。

3 多文化共生社会をどう築いていくか

- (1) 改定入管法や新技能実習制度は外国人の人権を守れるものとするか。
- (2) 外国人サポート窓口の最近の相談状況の特徴はどうか。
- (3) 急増するアジア系外国人住民と共生していくために何が必要か。
- (4) 多文化共生社会に向けて地方自治体は何をすべきか。

4 買い物に支障を来している市民への援助を求める

- (1) 市内で買い物が困難になっている地域を把握しているか。
- (2) 岩倉団地の取組から引き出される教訓をどう考えるか。
- (3) 介護保険の配食サービスの周知はされているか。
- (4) ふれ愛タクシー事業の限界を踏まえ、将来的な巡回型コミュニティバスの運行に向けて、地域公共交通調査を実施すべき時期に来ているのではないか。

3 大野 慎治 議員

1 高齢者への補聴器購入費助成制度の創設を求めて問う

- (1) 加齢性難聴に対する認識を問う。
- (2) 高齢者への補聴器購入費助成制度を創設するべきではないか。

2 保育園等へのおむつサブスクリプション導入について問う

- (1) 近隣市における取組について問う。
- (2) 保育園等へのおむつサブスクリプションを導入するべきではないか。

3 フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助金制度について問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 出席の取扱いはどのようなか。
- (3) フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助金制度を創設するべきではないか。

4 民法改正により越境した「枝」の切除ルールが変わったことについて問う

- (1) 本市の対応に変更はあるのか。
- (2) 学校等公共施設の樹木管理の課題について問う。

5 一宮春日井線の進捗の見通しについて問う

- (1) 今後の進捗の見通しはどうか。

4 日比野 走 議員

1 条件付特定外来生物について

(1) 条件付特定外来生物の制定の周知について問う。

2 その他外来種(暫定含む)について

(1) 外来種と思われるクサガメの対応について問う。

(2) ヌートリアの駆除対応について問う。

(3) 外来種と思われるコイの対応について問う。

3 本市の環境保全の取組について

(1) 本市の環境保全活動の展望について問う。

5 片岡 健一郎 議員

1 訪問理美容サービス事業について

(1) 訪問理美容サービス事業の概要及び利用状況について問う。

(2) 訪問し理美容サービスをしていただいている理容師または美容師への市からの報酬等について現状を問う。

(3) 持続可能なサービス事業とするため出張費用や売上保証、交通費などを考慮した代金の適正化について当局の見解を問う。

(4) 外出が困難な要介護者等の方へのサービスとしてさらなる充実を考え、年齢制限の撤廃、要介護3や身体障害者などへの対象者の拡充を求む。

2 岩倉市における健診事業について

(1) 岩倉市が実施する集団健診及び助成を行う人間ドックを受診された市民の対象者、受診率の推移について問う。

(2) コロナ禍の影響で健診控えが続くことがないように、市として受診を促進するための取組はどう考えるか。

(3) 人間ドック助成については、助成金の申請時に来庁する必要がある。利便性向上のため医療機関の支払い時に助成額との差額分だけを支払うよう改善できないか。

(4) 集団健診の予約制については、今後も継続していくのか。予約なしで実施していた集団健診と比較しどうか。

(5) 集団健診の受診をさらに促進する意味でも、保健センターだけでなく、駐車場が多く車で来場しやすい総合体育文化センターでの集団健診や土日の実施を検討してはどうか。

(6) 健診の結果、精密検査や治療が必要となった際の適切な行動を促す施策はどのようなか。

6 須藤 智子 議員

1 介護と仕事を両立できる環境づくりを

(1) 介護者が介護休業や介護サービスを活用しながら介護と仕事を両立できるように相談体制の充実が必要ではないか。

2 介護保険の財政難、人材不足の危機をどう乗り越えるのか

(1) 高齢化の進展により要介護者の急増による財政難への対応についての考えは。

(2) 不足する介護人材の処遇向上と新技術の活用についての考えは。

① 外国人労働者の活用は。

② AI（人工知能）の活用は。

7 榎谷 規子 議員

1 「ラーケーション」は子どもたちにとっても、教員にとっても、必要がないのではないか

(1) 子どもたちの間に格差を広げることにならないか。

(2) 学びの保障がされるのか。学習の遅れをカバーする手立てがないのではないか。

(3) 学級や学校の運営に支障を来すことにならないか。

(4) 教員の長時間労働、多忙化解消に逆行するのではないか。

2 インボイス制度の中止・延期を求めるべき

(1) 市内事業者の「消費税の適格請求書等保存方式」への対応をどう把握しているか。

(2) 市との取引において、インボイス制度に登録していない免税事業者を排除することはあってはならないと考えるがどうか。

3 女性・子ども目線での災害対応を

(1) 防災の会議・組織に女性参加を。

(2) 防災訓練に女性・子ども目線を。

(3) 防災安全の担当課に女性職員の配置を。

4 脱炭素型社会の実現に向けて

(1) 環境基本計画キックオフフォーラムをどう総括し、どう展開していくのか。

(2) 実効ある計画推進を。

8 塚崎 海緒 議員

1 岩倉市の市民活動について

(1) 市民活動を市はどうか捉えているか。

(2) 市民活動総合保険制度の導入検討を。

2 防災計画からひもどく 誰一人取り残さない岩倉市実現に向けて

- (1) 要配慮者の把握の現状はどうか。
- (2) 80歳以上の要介護認定を受けていない市民を把握できているか。
- (3) 孤立している要配慮者（特に高齢者）を地域包括ケアシステムにどうつなげるか。

3 LGBTQ当事者の子どもたちの権利保障について

- (1) 民間プールの授業で安心して更衣できる環境が整えられているか。
- (2) トイレや体育の授業などしっかりと配慮されているか。
- (3) 当事者の声に寄り添い対応できているか。

9 水野 忠三 議員

1 愛知県で始まる「ラーケーションの日」について問う

- (1) 「ラーケーションの日」の概要や意義は。
- (2) 学校での授業を受けなかった場合の学習の遅れに対して、どのようにフォローするか。
- (3) 算数や数学など、学習の積み重ねの要素も強い教科等については、フォローとして、授業の録画なども有効だと考えるが、見解は。
- (4) 「共働きで平日仕事のご家庭」や「親（保護者）が思うように休みが取れないご家庭」などに対する配慮等はどのように考えるか。
- (5) 「他の家庭は制度を活用しているので、自分の家庭も使わないといけない」というような、心理的プレッシャーを親（保護者）や児童・生徒が感じることはないか。
- (6) その他、「ラーケーションの日」について指摘されている課題等について、見解は。
- (7) 以上を踏まえた上で、本市における今後の取組は。

2 本市内を流れる五条川の治水対策に関連して問う

- (1) 集中豪雨など、近年の降雨の傾向や状況等について認識は。
- (2) 五条川の治水に関して、国及び愛知県の役割や責務等について認識は。また、本市の「あるべき関与」について見解は。
- (3) 愛知県尾張水害予防組合が愛知県（愛知県知事など）に対して要望した「令和5年度 治水工事促進に関する要望書」の内容について認識は。
- (4) 過去（平成29年7月など）の越水による浸水被害について、当時の状況及び現在までの対応や対策等は。
- (5) 現時点で未改修の親水性護岸整備について、本市の見解は。
- (6) 今後の五条川の治水対策について問う。

13 文化芸術・スポーツが生み出す本市の魅力と発展について問う

- (1) 文化芸術・スポーツと本市との関係について問う。
- (2) 文化芸術・スポーツの可能性について問う。
- (3) 本市に求められる視点として、「理念・ビジョンの確立」について見解は。

- (4) 本市に求められる視点として、「粘り強い継続的な取組」について見解は。
 - (5) 本市に求められる視点として、「市民の主体性の発揮」について見解は。
- 4 本市の持続的成長を可能にするリソースの循環及び本市の果たすべき役割について問う
- (1) 本市における「ヒト」の循環について問う。
 - (2) 本市における「モノ」の循環について問う。
 - (3) 本市における「データ」の循環について問う。
 - (4) 本市における「カネ」の循環について問う。
 - (5) 「リアル空間の活用・再発見」及び「仮想空間の拡大」について問う。

10 井上 真砂美 議員

1 生成AI (ChatGPT) の導入について

- (1) 「岩倉市AI総合案内サービス」を利用している現状（状況や利用頻度等）はどのようなか。
- (2) 仕事の効率化に役立っている「岩倉市AI総合案内サービス」をどのように管理しているのか。
- (3) 生成AI (ChatGPT) と岩倉市AI総合案内サービスとの違いはどのようなものか。
- (4) 生成AI (ChatGPT) を導入することで得られるメリットはどのようなものか。
- (5) 生成AI (ChatGPT) を導入することでのデメリットはどのようなものか。
- (6) 導入をすることについて市の考えをお聞かせいただきたい。

2 マイナンバーカードの保険証とのひも付けについて

- (1) マイナンバーカードの取得の進み具合・普及率はどのようなか。
- (2) マイナンバーカード申請に対する不信感をどのように捉えているのか。
- (3) マイナンバーカード取得のメリットはどのようなか。
- (4) 保険証とのひも付けのメリットはどのようなか。
- (5) 一般市民の不信感を払拭して、申請の呼びかけをどのように広げていくのか。

3 岩倉の文化財の維持管理について

- (1) 地区や個人で管理している市指定文化財の状況はどのようなか。
- (2) 地区で管理している「鱧口」や「鈴井町獅子館」、「紺紙金字妙法蓮華経巻第六」などに対する支援方法はいかがか。
- (3) 市民への一般公開の状況はいかがか。

4 アデリア総合体育文化センターロビーのガラスケース内展示品について

- (1) 北側ガラスケース設置の経緯はどのようなか。
- (2) 作品の入替えやガラスケースの整備予定はいかがか。

- (3) 市民文化祭後において、優秀作品の紹介の機会はどのようなか。
- (4) 市民の芸術作品（主に工芸品）を紹介する場はどのような機会があるのか。
- (5) アデリア総合体育文化センターロビーのガラスケースについて、市民の芸術作品や「岩倉市指定有形文化財」などを展示するスペースにしてはどうか。

11 梅村 均 議員

1 希望の家譲渡に向けた近況と今後の見通しは

- (1) 近況の取組状況は。社会福祉施設での活用とは具体的にどのような事業が実施されるのか。
- (2) レンタルオフィスとしての譲渡を探れないか。今後の見通しは。

2 将来に向け「ごみゼロのまち」を目指しては

- (1) 燃やすごみから生ごみの分別を検討すべきではないか。
- (2) さらなる資源化でごみの減量を。
 - ① 草木
 - ② 紙おむつ
 - ③ その他研究しているものはあるか。（紙コップ、卵の殻などは。）
- (3) 常設リユースコーナーを設置し、リユースまつりなどのイベントを開催できないか。
- (4) ごみゼロコンテストの開催を。
- (5) プラスチック資源循環促進法（プラ新法）によるプラ製品の扱いはどうするのか。

3 芸術・文化による生きがい・楽しみづくりや創業支援を

- (1) 市民の芸術作品を常時展示、販売するような仕組みができないか。（参考：糸島応援プラザ）

12 谷平 敬子 議員

1 認知症対策について

- (1) 認知症基本法についてどのような認識を持っているか。
- (2) 本市の認知症に関する施策はどのようなか。
- (3) 認知症の人の意見を聞く体制はどのようなか。
- (4) 「希望をかなえるヘルプカード」の導入を。
- (5) 認知症の早期発見のための新たな施策を。

2 睡眠教育について

- (1) 児童生徒の健康増進のための取組はどのようなか。
- (2) 小中学校において睡眠教育を実施してはどうか。

13 堀江 珠恵 議員

1 第9期介護保険事業計画について

- (1) 2023年現在の前期高齢者数と後期高齢者数は。
- (2) 地域の高齢者支援策の具体的な進捗状況は。
- (3) 本市における生活支援推進ネットワークの会議の実施状況は。
- (4) 生活支援コーディネーターの活動状況は。また本市はどの程度まで進んでいるのか。
- (5) 今後、住み慣れた地域で住み続けるために生活支援体制整備事業に力を入れていくべきではないか。

2 子供たちのマスク着用について

- (1) 小中学生のマスク着用の現状について。
- (2) マスク着用における子供たちの心身における教育現場でのメリットとデメリットの見解は。
- (3) 今後の学校生活において外す取組への考えはあるのか。

14 伊藤 隆信 議員

1 便利で快適な魅力あるまちづくりについて

- (1) 便利になった石仏駅周辺のまちづくりの開発は。
- (2) 岩倉駅東の桜通線の現状と五条川周辺のお祭り広場を巻き込んだ一体的な整備が必要だと思うが。
- (3) 大山寺駅周辺の整備、開発について。
 - ① 大山寺駅南の踏切の拡幅と併せて、人に優しく安全に渡れる踏切を作っては。
 - ② 大山寺駅のバリアフリー化の現状と今後は。
 - ③ 西春駅から徳重・名古屋芸大駅の鉄道高架の進展は。
 - ④ 桜まつりに大山寺周辺の五条川桜並木を見学する尾北自然歩道の整備が遅れているが。
 - ⑤ 希望の家まで五条川健幸ロードを延長してみては。
 - ⑥ 大山寺駅東の五条町の住宅の建て替え計画の現状は。

2 平和行政の推進について

- (1) 戦争を知らない戦後生まれが増加する中、平和意識の向上は。
- (2) ロシアによるウクライナ侵攻による子供たちへの影響を心配するが。
- (3) 平和教材漫画の被爆体験漫画「はだしのゲン」の教材としての現状は。
- (4) 核兵器廃絶平和都市宣言を平成7年12月20日に岩倉市議会はしたが、それ以降、核兵器はどんどん増加しているが。

- (5) 岩倉市小中学生平和祈念派遣事業を通して、平和についての思いを教育長に問う。
- (6) ロシアのウクライナ侵攻による戦争が2年目に入り、現状エスカレートして、その間、物価上昇を招き、市民生活に大きな影響が出ているが、今後の対策と世界平和についての思いを聞きたい。